



子ども一日禅のつどい(8月4日(火) 倉井・松雲寺)

photo 速水 克明

## 特集

## 夏休み今昔物語

### 主な掲載記事

- 夏休み今昔物語 ..... 2~6
- おじゃまします・あっちこっちこの町 ..... 7
- いづな時空散歩・ど〜こだ!? ..... 8
- 掲示板・スポーツ協会 ..... 9~10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 ..... 11
- はぐくむ ..... 12



地域の公会堂に集まりラジオ体操をする子どもたち（芋川・御所之入）

# 夏休み今昔物語

「夏」といえば「夏休み」とはいえ、今年はコロナの臨時休校の遅れを取り戻すべく、飯綱町の小学校の夏休みも8/1～17に短縮されました。コロナの影響で学校プールもなし、いろいろな行事やイベントも縮小または中止になり、子どもたちはどんな夏休みを過ごしていたのでしょうか。コロナの影響だけでなく、子どもたちの夏休みの過ごし方は年代と共に変化してきました。今どきの夏休み事情を探ると同時に各世代の夏休みのエピソードを集めてみました。

編集委員 速水 克明、飯田 安彦、近藤 りえ子

休みの定番といえば、ラジオ体操ですが、20代以上の皆さんは、ほぼ毎日ラジオ体操があったようです。さて、今の夏休みラジオ体操事情は、地区によって異なりますが3日～5日くらいでしょうか。夏休み前の地区子ども会にて子どもたちが相談して、いつ、何日間ラジオ体操をやるのかを決めたようです。今は子どもたちの自主性に任せられているようです。

ラジオ体操が初めて放送されたのは1928年。ラジオ体操を夏休みにする習慣のきっかけになったのは、1930年「長期休暇中の子どもたちに規則正しい生活を身につけさせたい」と、東京神田から始まりました。終戦直後一旦中止した時期もありましたが、1953年「夏季巡回ラジオ体操会」が開始され、夏休みのラジオ体操は、夏休みの定番になりました。高学年が前に出て見本になり、みんながマネをして体操をしていました。1年生など、まだラジオ体操を覚えていない児童も夏休み中毎日行うので、自然に全部できるようになりました。ラジオ体操が終わる

と高学年の児童が参加者のラジオ体操カードに判子を押してくれました。雨が降っても中止にはなりませんでした。社会人になってからもスポーツ交流会などでは準備体操としてラジオ体操をします。健康維持目的でも奨励されていますし、さらに介護現場などでも音楽さえ流れれば、みんなが簡単にできるので使われることが多いようです。現在は各家庭の予定などが沢山あり、ラジオ体操が実施される平日5日の中でも、お休みする児童もいます。一時期不審

者などが問題になり、毎日保護者が当番で見守りに行っています。ラジオ体操に来てもやっていない児童がいることも（笑）。高学年の児童でさえ、ラジオ体操を覚えていないこともあり。新しい朝が来た♪希望の朝だ♪というラジオ体操の歌が歌えない児童もいます。ラジオ体操が終わると、「キティちゃん」や「すみっこぐらし」などのキャラクターのスタンプから、それぞれ好きなデザインを選んで押してもらっています。また音源もラジオではなく、スマホでYouTubeを流すなど現代風になっている地区もあるようです。アニメのドラえもん



うーん、今日はどれにしようかな?♪(ラジオ体操のスタンプ)

のキャラクターたちの声でラジオ体操が流れたり、かなり多様化が進んでいるようです。今の子どもたちが高齢になる頃にはラジオ体操は誰でも簡単にできる体操ではなくなっているかもしれません。

\*\*\*\*\*

## 《20代》

○当時は牟礼B&Gプールでもプールの判子がもらえたので、友達と自転車で行ききました。学校のプールは好きではなかったです。ほとんど家になくて、自転車を乗り回したり、かくれんぼして遊んでいました。育成会行事で日帰り池の平に行きました。家族旅行も楽しみでした。海水浴もはずせません。宿題は超早くすませる！自由研究と工作は後回しで苦しみました。

(平出)

○家族でキャンプに行くのが恒例行事で楽しかったです。学校のプールはあまり好きではなく、親が当番の時に行くくらいでした。ラジオ体操も行きたくなかったけど、土日お盆以外毎日ありました。自転車ですり回っていることが多かったです。友達の家に行つてゲームもしました。

(西黒川)

## 《30代》

○ラジオ体操は、6時から各自ほうきを持参して公会堂の周辺を掃除して、6時30分から体操して、ラジオ体操カードに地区の会長さんの判子を押してもらって帰ります。当

時で20人から30人くらいが集まって、欠席の方が少なかったです。家族旅行などで、ラジオ体操に來ない人がいると、とても羨ましかったです。プールは、各地区ごとにバス停に集合して、平日は毎日あったと思いますが、私は個人的に水が怖くて水泳が嫌いだったので、学校のプールには行きませんでした。友達と自転車でB&Gへ行つて、水遊びは何度かやっています。たね。友達と近くの川で釣りをしたり、川に入って手掴みしようとしていたり、蜂の巣を落として遊んで刺されたり、ファミコンやったりしていました。1人の時は、午前中にテレビで放送される裸の大将や、名探偵コナンを見るのが楽しみでした。お出かけはたまに家族で上越の海に行くくらいです。地区子ども会でも、芋川神社で肝試ししたりしました。怖かった記憶しかないです。宿題は夏休みの初日に、



三水B&Gプールで楽しく遊ぶ子どもたち(昨年撮影)

近所の友達と手分けしてやっていた。自由研究は、かなり嫌いでした。昔は自由度の高い課題が嫌で嫌で仕方なかったです。

(芋川)

○友達と斑尾川で泳いだり釣りをして遊びました。釣竿は買ってもらいましたが、餌の糸ミミズを探して、ふな、うぐい、はや、ニジマス釣りました。リリースすることが多かったですが、大物が釣れると飼って、学校にも持って行きました。盆踊りは、小学校校庭に櫓が組まれ分館主催でありました。育成会行事も小学校区全体で午前中スポー



昭和40年代 育成会行事で海水浴。浜茶屋の前でスイカ割り(西黒川)

プールは、地区外の友達と会えるので楽しみでした。携帯ゲームが出始めた頃だったので、友達とゲームボイイで遊びました。お出かけはお盆の帰省くらいでした。(小玉)

《40代》

○毎日プールでした。お昼はおばあちゃんと食べてました。地区の友達が集まって遊ぶか、家でゴロゴロしてました。地区の行事で、霊仙寺湖のみどりの家にお泊りしました。(中宿)

○セミ、クワガタ、カブトは家の周りにいっぱいいましたね。もっと捕りたい人は、何処そこにいっぱいいる、と情報交換して捕りに行ってました。当時は三水改善センターの街灯にいっぱいいると人気スポットでした。日向センタ

ツ大会や用水路に放流した魚掴み大会等をやった後、午後は地区ごとに分かれて遊んで、公会堂にお泊りしました。(赤塩)

○いつもおばあちゃんとお昼ご飯を家で食べていました。お昼以外は家にいなくて、鳥居川で川遊びをしました。泳ぐことはなかったけれど、カニを捕まえたり、石を並べて何か作っていました。学校の

プーでカレーを食べてキャンプファイヤーをしてお泊りするのが地区の恒例行事でした。当時子どもも沢山いたので、地区で海水浴にも連れて行ってもらいました。(芋川)

○家に誰か誰かいて、家でお昼を食べてお昼寝して、地区内を友達同士で自転車を乗り回していました。おやつはみそにぎり、塩むすび、美味しかったです。夕顔は食卓に必ず出ました。(福井団地)

《50代》

○地区の行事で、七夕会、勉強会、肝試し、海、盆踊り、色々やってもらって楽しかったです。

○とにかく毎日学校のプール。ライダーキックで飛び込んで怒られてました。ラジオ体操ですが、当時の朝は寒くて鳥肌が立つほどでした。地区の行事で海に連れて行ってもらいました。谷浜や能生が多かったです。宿題は最初にやろうなんて気は更々なく、遊びほうけてましたねえ。(西黒川)

○毎日学校のプール。汗だくになって歩いてプールに行き、汗だくで帰ってきてアイス。地区の行事で夜肝試し、花火。

海も行きました。(古町)

○夏休み短かったです。とにかく外で遊んでいました。平日の放課後の遊びの延長です。虫捕り、野球。学校のきまりで子どもだけで他地域に行っではいけなかったもので、地域の子とも集まって遊んでいました。カブト虫はいっぱいいましたね。子どもだけで探検と称して自転車で山道を探り回して長野まで行ってしまったこともありました。地区の行事はレクリエーションや花火ですかね。八蛇川にニジマスを放流して釣り大会もありました。(番匠)

《60代》

○八蛇川にカジカ突きに行きました。釣りじゃないです。箱メガネを作ってもらって、川底を見ながらヤスで突く。面白かったなあ。今じゃ川も汚れちゃってカジカもいないだろうなあ。(西黒川)

○学校のプールに行きました。学校のプールは川の水を引いていて、結膜炎になる人がいっぱいいました。その後からしっかり消毒するようになったと思います。(古町)

○二十塚の畑に家族でお昼を持って行って、清水をすくってその水でじゃがいもを茹でたりしました。兄が、蕎麦好きで作ってくれました。信濃町との境なので木の下で昼寝をしました。岩崎の観音さんも楽しみの一つでした。歩いて行って歩いて帰って来ました。観音さんにお参りして、入口で売っていた栗まんじゅうをお土産に買って、ラーメンとかき水を食べて花火を見て帰る。長閑だったですね。(芋川)

○とにかく家の手伝い。麦刈り、草取り。友達に会えるラジオ体操が楽しかったです。地区で海に連れて行ってもらいました。大宮神社の桜の木はカブト虫やクワガタがいっぱいいて捕りに行きました。(西黒川)

○鳥居川で泳ぎました。整備される前なので、川底は石がゴロゴロしていて流れも今ほど速くなかったです。どろめつけ(カラス貝)を採りました。堤(つつみ：溜め池のよいうなもの)でも泳ぎました。堤を放水すると浅瀬になって、しじみが採れて味噌汁にしてみました。井戸水を貰い水してカバヤの粉末ジュースを溶かして飲むのが好きで

した。お風呂の水は川の水で、川から水を運ぶのが子どもの仕事でした。(東黒川)

○家の手伝いをさせられまし  
たね。遊びは、月見川で沢蟹  
を捕ったり、裏山に秘密基地  
小屋を作って友達とお泊りし  
ました。当時の田んぼは区画  
整理前で大小入り乱れていた  
ので細い堰がいっぱいありま  
した。そこにザルを入れると  
鬪魚、どじょうが山ほど捕れ  
ました。ニクロム線にちり紙  
をつけて四ツ屋の池でエビも  
釣りました。おやつといえば、  
みそむすびが美味しかった。  
夏の食べ物といえば、おやき、  
もろこし、夕顔、スイカ。ス  
イカは八百屋のおじさんが売  
りに来ていた。アイスキャン  
デーも長野から売りに来てた。  
赤倉のヘルスセンターに大人  
の分館行事と一緒に連れて行  
ってもらったのがお出かけの  
思い出。海は行きませんでした  
ね。宿題はためてましたね  
え。低学年は工作、高学年は  
自由研究でした。(平出)

○ラジオ体操は、お宮の境内  
にみんなが集まってやってい  
ました。10時までは友達を誘  
わない、という夏休みのきま  
りがありました。兄弟で家の  
周りでセミ捕り、池でザリガ  
二捕り。カブト虫やクワガタ  
は、捕りに行かずとも居間に  
下げたハエトリ紙にくつつ  
いてたりしましたね。トン  
ボ、セミは手で捕まえました。  
とにかく外で遊んでいました。  
諏訪社に行けば誰か誰かいて  
遊ぶ友達には困りませんでした  
。退屈することもなかった  
ですね。学校でうさぎを飼っ  
ていて餌くれ当番がありました  
。一度当番を忘れたことがあ  
って、死んじゃったんじゃない  
かと心配したことを思い出  
します。迎え盆は天ぷらと  
そうめん。浴衣着せてもらっ  
てポックリ履いてお墓に行っ  
て、お墓で火花をして、子ど  
も提灯に火を入れてもらって  
帰ってくる。14日の朝は総出  
でおやき作り。昔は14も15も  
16もそのおやきを食べました。  
家庭用かき氷機が出た頃だっ  
たので家でかき氷やって、赤  
や緑のシロップで舌がすごい  
色になりました。宿題の自由  
研究、工作は大変だった。学  
校のプールは、堤から水を引  
いていたのでとても冷たくて、  
震えている人が多かったです。  
プールサイドの石タイルに張  
り付いて甲羅干ししました。

### 70代

○学校のプールがなかったの  
で、小学校3年生くらいまで  
は鳥居川で泳ぎました。吹上  
げ辺りの、ちよつと水が止め  
てあるような所があつて、大  
きい人たちと一緒にみんなで  
行った。大人なんかはついて  
いかなかったよ。ろくに泳げ  
ないから溺れそうになったこ  
ともあつたな。川に入つて  
よく遊んだ。カジカがいつば  
いいて、萱に吊るして何匹捕  
れたか競争した。塚田さんや  
駄菓子屋さんにヤスや水中メ  
ガネが普通に売っていた。川  
がだんだん汚くなってきて、  
川に入つて汚れる感じがわか  
った。魚もカジカも少なくな  
った。中学校になったら川遊  
びは禁止事項になった。川が  
危険だからというより汚くな  
ったからかなあ。夏休みの作  
品は、男子はみんなセミや虫  
を捕って、ただ菓子箱の中に  
入れて。標本なんて物じゃな  
いから、ガラガラ入れてある

(東相原)

だけでゴミみたいな物。絵日  
記も毎日、たまつてしまつ  
て困ったな。昔は厳しくて、  
今みたいに3日とかじゃない。  
ラジオ体操も毎日、ラジオの  
ある家へ行つて(太田洋服店  
とか)やったような気がする。  
お盆の楽しみは、家族で野尻  
湖に行くこと。親が商売やつ  
ていたからお盆しか休めない。  
車もないから、牟礼駅から電  
車(汽車)に乗つて柏原で  
降り、またバ  
スに乗つて行  
く。行くだけ  
でも大変だつ  
たよ。帰りは  
柏原の映画館  
で映画を観る  
のが楽しみだ  
った。(栄町)

○地区の子ど  
も同士で、と  
にかく外で遊  
んでましたね。  
戦後の物不足  
で、これとい  
った遊び道具  
はありません。  
小学校低学年  
の遊びは「棒  
ベース」が人  
気でした。守備と攻撃に分か  
れて、10cm位の玉木を50〜60  
cmの尺棒で飛ばし、守備がキ  
ャッチすればアウト、飛ばし  
た距離の長さを競いました。  
(野村上)



昭和20年代 鳥居川で箱メガネを使って魚獲りをする子どもたち

した。車の通行の心配はなく自由でした。家は農作業が主で忙しく、両親の手伝いをよくしていました。(袖之山)

### 80代

○子どもも働き手として一人前に数えられていたので家の手伝いをしていましたね。遊びは川や堤で泳いだな。泳ぐ所は、男子と女子で分かれていました。七夕も笹採ってき

て飾り作ったりしたけど男女別々にやっていましたね。子どもだけでお泊りすることもあったけど、蚊が多かったから蚊帳を吊って寝ました。カジカも捕りました。木杵を自分で作ってガラス屋さんでガラスをもらってきてガラスを木杵にはめて口ウでふさいで箱メガネを作ってカジカをヤスで突いた。ヤスは、当時、鍛冶屋さんもいたから作ってもらった。どろめつけ(カラス貝)やしじみ、どじょうも採れた。宿題もあつたよ。当時は冷蔵庫がなかったから、おやきやスイカを落ちないようにザルに入れて井戸に吊るして冷やしたよ。(黒川)

\*\*\*\*\*

このコロナ禍であっても、長く続く夏休み行事を絶やすことなく開催された坐禅会を取材すべく、飯綱町倉井にある、曹洞宗、松雲寺の沖住職に話を伺いました。

このお寺では、毎年8月夏休みに、小・中学生を対象に「子ども一日禅のつどい」を行っています。

日程は朝5時45分から6時15分の30分間の坐禅から始まります。初めての子どももいるので、説明をします。合唱を行い、挨拶、着坐①足の組み方。坐蒲がお尻の中心に位置するように足を組み、両膝とお尻の三点で上体を支えます。②手の組み方。右手を左手に乗せ、その上に左手の手を乗せ両手の親指を軽く合わせます。③上体の姿勢。背骨をゆったりと積み上げ、上に頭をバランスよく置きます。耳と肩、鼻とおへそは垂直になります。④口の閉じ方。舌は軽く上顎につけ、閉じた口の中に空気がこもらないようにします。⑤視線の位置。目は見開かず細めず自然に開き、視線は前方1mに落とします。⑥はじめの深呼吸。口から大きく深呼吸を数回し、心

\*\*\*\*\*

と身体のコわばりをほぐします。⑦左右揺振。上体を左右へ、はじめ大きく徐々に小さく揺らし、振り子が止まるように、中心で静止します。⑧坐禅中の呼吸。基本は、鼻から息を吸い込む腹式呼吸で、ゆつくりと丁寧な呼吸を心がけます。⑨坐禅の心構え。様々な思いにとらわれず、身体と息を整えて坐ります。坐禅が始まる前までは、うるさく騒いでいた49名の子どもたちが、始まりの鐘が3回鳴ると、一気に静かに坐禅が始まりました。住職さんの話では、坐っている姿が仏様の姿になる、とのことでした。そもそもこの禅のつどいは、大学時代、禅のつどいをしているお寺さんを見て、自分のお寺でも取り入れたいことを、先代の住職に相談をして昭和62年にスタートし、今回で32回にもなりました。日程には朝食と昼食もあります。子どもたちも手伝い、みんなでしたきます。この時も住職さんによつて食事作法のお話がありました。「五観の偈」も食前に唱えました。作務(掃除)も行います。3回目の最後の坐禅では、住職による警策が

全員に行われます。こうしてみると、とても厳しく難しい禅のつどいのように感じますが、子どもたちはとても楽しく、生き生きと参加していました。

\*\*\*\*\*

住職の話では、只管打坐、ただひたすらに坐る。とことんやる。坐禅をすることも、食事を食べることも、掃除をすることも、遊ぶことも、最初は10分でも良くてとことんやること、それが大切だと教えていただきました。

今回、私がびっくりしたことは、子どもたちを叱らないことでした。食事中に肘をつけて食べている子どもには「肘をつかない。」と注意はするものの、境内では柱に上っている子どもや、鬼ごっこで走り回る子がいました

が、叱ることがなく、自由にしていました。

\*\*\*\*\*

自然環境や社会情勢の変化などから、今の時代では経験不可能なものも多々ありますが、お膳立てされ管理された遊びでなく、自然の中自分で見つけた遊びに時間を忘れて夢中になる、そんな幸せをこれからの子どもたちにも味わう機会があればいいなあと思います。

そして、意義や意味をもつて受け継がれてきた行事も、少子化や担う大人の減少などで継続が難しい場面もありますが、夏の風物詩として生き続けてほしいものです。

飯綱町の子どもたちが日本の大切な作法を教えながら、楽しい夏休

\*\*\*\*\*



第32回松雲寺子ども一日禅のつどい当日の沖住職。本堂にて

おじゃま  
します

# こだわりの竹細工作り

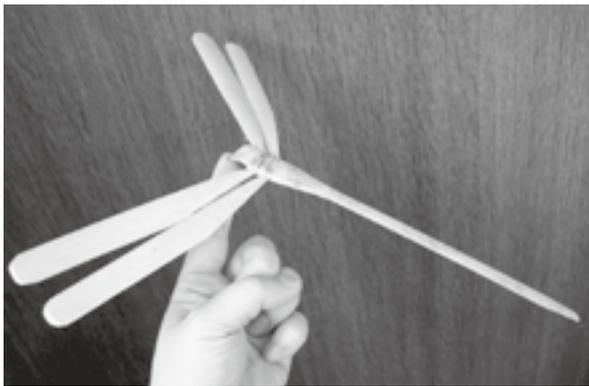
平井 康博さん(福井団地)



今回、お話を伺った平井さんはご自宅で竹細工を作っています。ご自宅の玄関にはたくさん作品が並び、訪れるお客さんに「好きなものを持っていつて〜」と勧められます。竹とんぼの羽には重りをつけて、滞空時間や飛行距離が長くなるように工夫をしていて、遠くまで飛ばすコツを実演してくれました。バランスとんぼは羽・頭・尾でバランスをとって、長時間揺れるように工夫をしていて、カッターを使って細かく削りながら調整をする様子を見学させてもらいました。

平井さんは小学生の頃から

ら木でモーターボートを作り、防火水槽に浮かべて遊ぶなど、作品を作るのが好きでした。8年ほど前にホームセンターの民芸コーナーでバランスとんぼが販売されているのを見て、「やってみよう」と思いつきはじめたそうです。試行錯誤を重ね、10個目を作る頃には指の感覚や視覚を使ってバランス調整ができるようになり、こだわりの作品が作れるようになったそうです。それからはお実家の裏山にある孟宗竹や淡竹を切り出し、半年ほど乾燥させてから竹細工を作り続けています。一番大きな作品は、孟宗竹を使った長さ40cmにもなるバ



頭の前でバランスをとり、飛んでいるように揺れ動きます

ランスとんぼー動め先の高齢者施設に飾っていたのですが、昨年の台風19号の被害に遭い流されてしまったそうです。他にも施設の利用者さんにも喜んでもらうと、ビンゴ大会の景品として竹とんぼやバランスとんぼを作ったり、楽しい余暇時間を過ごしてもらおうと数字パズルを作ったり、時間がある時には、ご自宅の作業部屋で竹を切り出し、削っています。

(高橋 瑞穂)

利用者さんの生活や人生に深く関わる作品を作り続けている平井さん。素敵なライフワークだと感じました。



玄関ホールのイラスト。必見です!

眼下に広がる景色を眺めながらお仕事、ブックラウンジで気分転換、お腹が空いたら喫茶室でランチ、そしてお土産にシールドル。さあ! すぐ出してみよう!

(高橋 弘之)



タイトル/金子すみれ

## No.52 生まれ変わった旧三水第二小

7月17日に『いいづなコネクトeast』がオープンしました。旧三水第二小学校です。皆さんはもう行ってみましたか?  
玄関ホールは四季のステンドグラスと「すぐ出して、いこう!」と壁いっぱいイラストが出迎えてくれます。中に入るとシールドル醸造で先行する林檎学校醸造所、美味しいランチがいただける泉ヶ丘喫茶室、漫画が読み放題のブックラウンジ、コーヒーキングスペイスなどがあります。校庭や体育館も今まで通り使えますよ。

# いづな時空散歩

Vol.3

## 北信五岳と飯綱町

戸隠・飯縄・黒姫・妙高・斑尾の5つの山をまとめて「北信五岳」といいます。この呼び名は北信濃に暮らす人々には馴染みで、学校校歌の歌詞や幹線広域農道の名称にも使われています。でも、他にもたくさん山がある中で、なぜこの五岳なのでしょう。

そんな素朴な疑問に対し、2000年に発表された信州大学の石澤孝氏の地理学的考察はひとつの参考になります。石澤氏は、五岳だけがうまく視野に収まる場所を探索し、その結果から「北信五岳」の発信地を長野市松代付近とする説を立てています。

松代の鳥打峠から見ると、前景に千曲川と善光寺平

があり、背後の一段高い丘の上に

五岳が見事に並びます(写真参照)。

実はこの景観には数百万年前から

現在までの北信濃の地殻変動の痕

跡がよく現れています。また飯縄・

黒姫・妙高と斑尾山の間の鞍部には、

内陸と日本海を結ぶ大事な交通

路が古代から現代まであり続け

ました。この峠から見ると、「五

岳」は北信濃の自然と人の歴史が

織りなす文化景観を印象づけ

る、すぐれた目印(ランドマーク)

になっているように思われます。

飯綱町は北信五岳の山ふところ

の町です。歴史ふれあい館3階にのぼると、五岳を間近に望む

ことができます。どうぞ気軽に立ち寄りください。

(いづな歴史ふれあい館長 富樫均)



鳥打峠(長野市松代)から見た北信五岳と飯綱町(筆者撮影)

## シリーズ人権ねがい

89

今日も新型コロナウイルスの関連ニュースがたくさん報道されています。さまざまな人たちがこのコロナと立ち向かっています。

### 災い転じて福となす

全国緊急事態宣言により、企業の臨時休業、自宅待機、イベントの中止、密にならない生活など

社会に及ぼす影響は計り知れないものになりました。そんな中、私は、例年通りとほぼ変わらない仕事をこなしている日々が続いております。新型コロナ

ないのでしょうか。

「災い転じて福となす」ということわざがあります。新型コロナ

ウイルスの感染が世界中に広まってしまった現在、

もはや残された道は、このことわざの確かさを証明しようと、

どれだけ私たちが自覚できるかにかかっていると感じ

ます。(人権教育推進委員 高野茂樹)

これは、どこから撮った写真でしょう。

**ヒント** 三水地区、両脇にリンゴ畑がある2車線の道路付近



## ど〜こだ!?

### 88号「ど〜こだ!」答え

北信五岳道路から芋川田中方面に広がる田園風景です。左に写っている東屋の横には小さな池があり、めだかもいます(親水公園)。



## 第12回町民運動会中止のお知らせ

第12回町民運動会を10月11日(日)に予定してありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止といたします。昨年に引き続き、今年も中止となり、「今年こそはー」と楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただけますますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が一刻も早く収束し、来年こそは開催できることを願っております。

## 第6回飯綱町小学生駅伝競走大会開催

今年度も飯綱町小学生駅伝競走大会を開催します。現在、参加チームを募集しております。

※なお、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、中止になる場合があります。

日程 11月3日(火・祝)

場所 飯綱町民会館周辺

その他 選手6名、補欠2名の8名以内でチームを作り、10月9日(金)までに飯綱町三水B&G海洋センターまでお申し込みください。

問合せ 飯綱町三水B&G海洋センター TEL253-8951



## 中学校図書館新着本

- 法廷遊戯 五十嵐律人
- オフマイク 今野 敏
- 隣の百合おばさん 城 唯士
- 一人称単数 村上春樹
- 二百十番館にようこそ
- いちねんかん 加納朋子
- サル化する世界 梶中 恵
- 五年後に 内田 樹
- 陽眠る 咲沢くれは
- 呷う北斎 上田秀人
- 音速の刃 望月諒子
- ヴァンダーカンマー 未須本有生
- 52ヘルツのクジラたち 星月 涉
- お父さんはユーチューバー 町田そのこ
- 靖国神社の緑の隊長 半藤一利
- きつと明日はいい日になる 濱口倫太郎
- 私は真実が知りたい 赤木雅子 田口久人
- 超効率勉強法 DaiGo 亀井卓也
- 5Gビジネス 亀井卓也
- できるテレワーク入門 法林岳之 他

## 公民館図書新着本

■一般図書

★「家族の幸せ」の経済学

山口慎太郎



結婚・出産・子育てについて、統計を基に幸せとのつながりを分析し、経済学視点から「自分の幸せとは何か」を導く。

「三つ子の魂百まで」は真話？ 神話？ また、3年育休は効果的なのか、母乳についてなど、今まで子育てで後ろめたさを感じたことのあるお母さん、子育て中、これからお母さんになる方には特にオススメです。

### ■その他新着本

- 風を結う あさのあつこ
- 光秀の選択 鈴木輝一郎
- 森メトリイの日々 森 博嗣
- きたきた捕り物長 宮部みゆき
- 図書館の子 佐々木謙
- 発注いただきました！ 朝井リョウ
- つながりません 長岡弘樹

### ■児童図書・絵本

- ワンガリの平和の木
- みずたまり
- 6600万年前…ぼくは恐竜だったのかもしれない
- いっぴきぐらしのジュリアン
- ふたりの約束
- 図書館からの冒険 岡田 淳
- ハロー、マイフレンズ 大矢純子
- グランパと僕らの宝探し 大矢純子
- わたしといろんなねこ おくはらゆめ
- 森の診療所ものがたり 竹田津美
- 若草物語I&II L・M・オルコット 谷口由美子 訳

この他、随時新着図書が入っていますので、中学校図書館・公民館図書室へお出かけください。

## マレットゴルフ定例会開催中です



7月20日(月) 飯綱町ふれあいパークに新しくオープンしたふれあいマレットゴルフ場において飯綱町マレットゴルフ協会の定例会を行いました。

ふれあいパーク運動場・野球場の周辺に36ホールのマレットゴルフ場が今年オープンしました。新型コロナウイルスの関係でオープン記念式典ができなかったため、町民の皆様の中にはまだご存じない方もいらっしゃるかもしれませんが、マレットゴルフ協会では毎月定例会を行っています。

1組3～4名で、前後も空けてスタートするため、ソーシャルディスタンスも取りやすいです。7月20日は会員だけでなく、一般の方も含め26名の参加でした。8月は21日(金)です。もちろん9月も20日前後に計画します。無線放送で募集しますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。

## コロナ対策をしながら 夏季大会



7月25日(土) ふれあいパーク屋内ゲートボール場において飯綱町ゲートボール連合の夏季大会が行われました。通常は春季大会として6月に開催する大会ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染状況により、時期をずらしての開催となりました。ソーシャルディスタンスを保ち、三密にならないようにして、試合中もマスクを着用して行いました。

## 声はいつもより控えめに… 小学生バレーボール交流大会



8月10日(月・祝) 牟礼B&G体育館において飯綱町スポーツ協会長杯小学生バレーボール交流大会が行われました。参加チームを通常の大会より減らし、体育館の中に入る人数も制限し、試合と試合の間には窓と扉を開放し、換気をするなど、コロナ対策や熱中症対策をした上での開催でした。

今年は色々な大会が中止になる中、少しでも練習の張り合いになるように、工夫して今大会に踏み切ることができました。この交流大会が少しでも記憶に残る大会であったらいいと思います。

## 町長杯ソフトボール交流会を 開催しました



8月9日(日) ふれあいパーク運動場において町長杯ソフトボール交流会を開催しました。

新型コロナウイルスの関係で東北部や上水内郡の大会などほとんどの大会が中止になっている現在、せめて飯綱町のチームだけでも試合ができないかと計画されたものです。シニアと壮年、体力差等があるため、ハンディ付きのローカルルールで行いました。

今まで通りに、なかなか練習ができない今、参加チームには楽しんでいただけたと思います。

**スポーツ協会試合結果**

■大人の部

飯綱町マレットゴルフ協会定例会

期日 7月20日(月)

会場 飯綱町ふれあいマレットゴルフ場

○男子

1位 黒沢 正幸

2位 清沢 今朝勝

3位 荻原 定雄

○女子

1位 荻原 峯子

2位 山田 美津子

3位 小池 久恵

飯綱町ゲートボール連合夏季大会

期日 7月25日(土)

会場 飯綱町屋内ゲートボール場

1位 福井 団地

2位 黒川

3位 普光寺

# 穴場パワースポット

## 八幡社（赤塩）

北信五岳道路を中野方面から飯綱町に向かって走っていると、ふと小高い山の中腹に赤い鳥居を見つけた。何年も通っていたのに今まで気付かなかつたのですが、一見大倉の地籍に思われるこの神社は、赤塩の八幡社はちまんしゃという神社。上赤塩組と下赤塩組の社で、昔は集



八幡社（上水内神社誌改訂版より）



鮮やかな朱色に塗られた鳥居

落の真ん中に位置していたらしいです。境内には奉納相撲がとれる場所があり、本殿には菅田別命・天照大御子神・健御名方富命が奉られています。

今年の春、鳥居の親柱と稚児柱の根元が老朽化してきたため、鳥居全てを立替えられたそう。朱色に塗られた鳥居が存在感を増したようです。飯綱町に鎮座する法人格を持った神社は牟礼地区8社、三水地区9社の計17社あります。こんなにも、この町に神社があるとは!! それぞれの神社に個性があります。神頼みや二年参りなどのイベントがないとなかなか足を運ばない方もいらつしやると思いますが、昔は住民の集いや憩いの場であり、日本人の原風景や心のふるさとでした。神社は伝統文化を残す民族遺産と言えるのではないのでしょうか。

新婚旅行では、大阪から南側を1日1県を車泊で旅し、神社巡りをしたというくらい神社には魅力を感じているわたし。飯綱町に素敵な神社がたくさんあることを知り、また巡ってみようと思いました。  
（天野奈津美）

### 「俳句」

（飯綱俳友会）

仕事師の至福の昼寝高野

高野 修

世人みな抱え生きたむ原爆忌

龍野 由子

殿賀村黒き雨降る広島忌

日野 秀静

焼け爛れ肌に蛆わく広島忌

寺島美恵子

茂る葉に顔たたかれる道祖神

泉井 清泉

茂り中馬頭観音覗いてる

東 奈々子

廃校の茂みの中に金次郎

仲俣 一重

石段を隠す茂りや村社

田宮 秀英

目を凝らす大輪開く月下香

清澤今朝勝

藤村の後追ひ秋の中仙道

前野 泉

### 「短歌」

寝る前に読んでほしいと幼な孫  
いつもおんなじ本を抱えて

坂井 寿男

奥信濃おらが一茶をはぐくめる

外山 吉恵

山黒姫のまろやかなるかな

ひと晩に二十数本もろこしを

食べし動物満腹なりしや

井澤喜世恵

ウィルスに負けるな今日も八十路農

盆に帰れぬ娘に野菜を

金井 幸江

## 道人ほ

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず不安な毎日です。

コロナウィルスの影響が出始めた3月…。そんな中でも飯綱町の季節は移り変わっていき、桜が咲き、飯綱山は山すそから新緑となり、蛙が鳴き今はひぐらしが鳴いています。その鳴き声にふと癒される毎日です。

夏野菜が採れる頃になりました。この季節になるといつも思い出すことがあります。それは、畑で食べたトマトの味。私が小学生の頃は休日には家族で畑に行きました。喉が渇くと父が採れたてのトマトをズボン

で拭いてくれて食べたトマトは太陽の光であったかい味でした。懐かしい味はその時の事を思い出し、心の支えになることがあります。

季節の野菜にはその時期の体が喜ぶ効果ももっています。四季ごとの旬の食べ物を味わえるのは、日本の良さです。

コロナウィルスで自粛の年になり、辛い思いをしている方もいると思います。そんな時にこそ、時には食べたい物を食べて、気持ちも元気にし、免疫力アップで暑さとコロナウィルスを乗り切りましょう。  
（中村）

～さみずっ子保育園作品紹介～



**つくし組(0歳児)〈自然型保育〉**  
お散歩では、いつも色々な草花や生き物に出合えます。「ネコジャラシって何だかふわふわしててくすぐったいな〜」(この後少し味見しちゃいました!)



**れんげ組(1歳児)**  
織姫様と彦星様の服を丸シールで飾りつけしました。きっとお空からもみんなの顔が見えているはず。お願いが叶いますように…。



**すみれ組(2歳児)**  
プールに入れる日を心待ちにしながら、汗いっぱいかいて新聞紙プールで遊んだよ!ピリピリの音が楽しいんだよ〜。



**たんぼぼ1組(年少)〈自然型保育〉**  
みんなで泥遊び!力を合わせて作ったり、水を運んで川を作ったりと楽しんでいきます。「お山に木を植えよう!」と草を持ってきて植樹(?)が始まりました。



**たんぼぼ2組(年少)〈自然型保育〉**  
お気に入りの田んぼ。オタマジャクシ、カエル、ドジョウの赤ちゃん見つけ!「あっ、これは何だ?」バケツに入れてじっくり観察。わからない時、図鑑などで調べることが楽しいね。



**こすもす組①(年中)〈自然型保育〉**  
「きゅうりの収穫」  
“ちくちくする”“上の方を持つと痛くないよ!”自分たちで収穫して気がつきました。他の野菜の収穫も楽しみです。



**ひまわり組①(年長)**  
おばけやしき準備中。「白い紙に赤い手型をいっぱい押したら血みたいで怖いかも!」ということで…。準備から片付けまで全部子どもたちで!!自分たちで気付いたり、こうしたらと疑問を持ったりしながら様々な体験をしています。



**ひまわり組②(年長)**  
みんなで協力して大きな虹を作りました。出来上がった虹を見て「キレイ!」「本物みたいだね!」と嬉しそう。お部屋では“にじのむこうに”の歌が響いています。



**こすもす組②(年中)**  
「おばけだぞ〜」  
折り紙をちぎったら可愛くて、おもしろいおばけが沢山できました。